

岸田首相 退任へ

自民総裁選、不出馬表明

裏金事件「けじめ」

岸田文雄首相(67)は14日、官邸で記者会見し、9月の自民党総裁選に立候補しないと表明した。自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件について「残されたのは自民党トップの責任だ。私が身を引くことでけじめをつけ、総裁選に向かいたい」と責任を取る考えを示した。岸田内閣は2021年10月の発足から3年で退陣する。自民党は首相の表明を受け、総裁選で後任を選出する。



記者会見で自民党総裁選への不出馬を表明する岸田首相＝14日午前、首相官邸

首相は不出馬について「自民党が変わると示す最も分かりやすい最初の一步は私が身を引くことだ」と明言。裏金事件に関し「所属議員が起こした重大な事態について、組織の長として責任を取ることにちゅうちょはない」と強調した。

首相は再選出馬を模索してきたが、内閣支持率は20%台に低迷。首相の下では次期衆院選で苦戦は免れないとして、党内から交代を求める声が上がっていた。菅義偉前首相に続き、現職の首相が総裁選で不出馬に追い込まれる形となる。

総裁選を巡っては、石破茂元幹事長が出馬意向を事実上表明。河野太郎デジタル相も麻生太郎副総裁に立候補への意欲を伝達した。茂木敏充幹事長、小泉進次郎元環境相、小林鷹之前経済安全保障担当相、高市早苗経済安保担当相を推す動きも出ている。